

日能研労働組合ファックスニュース

一人はみんなのため、みんなは一人のために

<2008/09/26>

■発行■日能研労働組合
〒650-0025 神戸市中央区相生町 4-4-6
TEL・FAX (078) 371-2991
<http://www.nichinouken-union.com/>
email: info@nichinouken-union.com

○講師の残業代の不払いは 150 件超か○

組合員講師の残業代「改ざん」事件をきっかけに、組合は7月10日TCSを急遽訪問し、過去の「勤務確認表」の開示を求めました。当日は担当不在という事で、もらうことができずに終わりました。後日、TCSより全講師に向けて、過去に不払いの賃金があること、過去30か月分について調査していることを明らかにしました。

9月9日団体交渉において、調査結果を求めたところ、講師100人中ほぼ50人のべ150件程度の不払いがわかっているとのことでした。過払いになっている分もあるが、返還は求めないことも確認しました。その原因として、TCSは、室長の報告ミス、TCSでの入力ミス、室長からの報告と実際の「勤務確認表」とのチェックのミスであるとしています。

過去に賃金の不払いは正社員にもあり、組合の追及で支払った経緯があり、会社が労働者を軽視する姿勢が改まっていないのではないかと思います。そもそも、不払いをした会社が自身の調査をするということ自体に疑問はあり、「年金問題でも年金特別便を出すなどしている」との指摘もありました。ひとまず、早期の調査と原因究明の報告を求めています。私たちの疑念を晴らす結果報告を期待します。

また、社員の残業代についても、給与明細にとともに残業時間の一覧（上長が報告している）を同封するように求めました。

○講師契約は例年通りの流れで行われます○

日能研での再雇用となり、書類などの郵送元が日能研に変わるものなどがありますが、TCSから日能研に移行する事で、2度足を運んで契約とかという事はないと発表されました。会社都合で振り回された数年間でしたが、ようやく先が見えてきました。経緯を考えるなら、会社は時給契約で誠意を見せるべきでしょう。

○10月2日、団体交渉をします○

鈴木課長による有給休暇申請撤回強要＝パワハラ事件を中心に交渉します。前回の団交では、会社は鈴木課長に対して、「訓戒」「始末書」提出の処分をしたと回答していますが、処分の軽重はともかく、「評価者＝管理者」として、パワハラ被害者の上長でいることは問題です。

また、監督署の立ち入りの際に、会社は有給休暇が取りやすい環境を整備するといっていますが、具体的な改善策を問いただします。講師の不払い問題にも共通する事ですが、会社の態度には、労働者の権利や賃金といったものをなるべく削るような姿勢が感じられます。また、上長にはそのような方向の指導や誘導があるように感じられます。

○定期大会を開催し、新役員を選出しました○

委員長：酒井浩 副委員長：藤本敬、増村 書記長：香川

会計（執行委員）：恵川 執行委員（委員長代行）：東雅

執行委員：浅田、阿部、大西、岡野、須崎、竹谷雅、竹安、内藤、野中、藤本智

会計監査：神崎、高宮（予定、敬称略）

今年度もよろしくお願ひします。